

対応状況報告書

大 学 名：東北大学

評価実施年度：令和3年度

報 告 年 度：令和5年度

対象となる基準	基準5－3
改善を要する点	○理学研究科（博士後期課程）及び薬学研究科医療薬学専攻（博士課程）において、実入学者数が入学定員を大幅に下回っている。
対応状況	薬学研究科医療薬学専攻（博士課程）の入学定員充足率は0.75倍（令和元年～令和5年度）と改善されている。 それ以外の研究科については、現時点で改善された状況にあると判断していない。 上記の改善を要する点の指摘に対して、学生の進学意欲を高めることを目的にして、博士課程後期3年の課程において実施していた修業年限短縮制度を薬学履修課程（医療薬学専攻）においても実施するための必要な要件を検討し、令和3年11月17日の研究科委員会において決定した。 令和4年度の薬学部学科オリエンテーションにおいて、薬学科長が、キャリアパス、上記修業年限短縮制度及び大学等による経済的支援制度等に関する説明と並行し、学部学生が学科決定の過程において、薬学科を希望する学生に対し、上記内容を含む面談を行っている。 また、本学薬学部卒業者以外の入学者を増加する取組みとして、各教員が学術大会開催時にリクルート活動を行った。 【根拠資料・データ】 ・認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式2（令和5年5月1日現在） ・東北大学大学院薬学研究科薬学履修課程における修業年限短縮による課程修了に関する細則 ・薬学履修課程における短縮修了による学位論文審査に関する申し合せ（非公表）

(注)

1. 機構で受けた大学機関別認証評価において、「改善を要する点」として指摘された事項の対応状況について記入してください。
2. 「改善を要する点」には、評価結果報告書の「Ⅱ 基準ごとの評価」の【改善を要する点】に記載された内容をそのまま転記してください。
3. 「対応状況」には、「改善を要する点」として指摘された事項に関して改善された状況の具体的内容及びその改善を実現した取組について、根拠資料・データ等とともに「対応状況」欄に記入してく

ださい。

4. 根拠資料・データ等は、その名称を記載のうえ、別添として添付してください。評価結果の追記公表の際に併せて公表しますので、資料番号については、既存資料と重複しないよう、既存資料の資料番号以降の連番としてください。
5. 評価を受けた年度の翌年度を一年度目として起算した場合の三年度目の6月30日までに改善していると判断していない事項については、対応状況欄にその旨のみを記載してください。

対応状況報告書

大 学 名：東北大学

評価実施年度：令和3年度

報 告 年 度：令和6年度

対象となる基準	基準5－3
改善を要する点	○理学研究科（博士後期課程）及び薬学研究科医療薬学専攻（博士課程）において、実入学者数が入学定員を大幅に下回っている。
対応状況	薬学研究科医療薬学専攻（博士課程）の入学定員充足率は0.75倍（令和元年～令和5年度）と改善されている。（令和6年3月追記） それ以外の研究科については、現時点で改善された状況にあると判断していない。

（注）

1. 機構で受けた大学機関別認証評価において、「改善を要する点」として指摘された事項の対応状況について記入してください。
2. 「改善を要する点」には、評価結果報告書の「Ⅱ 基準ごとの評価」の【改善を要する点】に記載された内容をそのまま転記してください。
3. 「対応状況」には、「改善を要する点」として指摘された事項に関して改善された状況の具体的な内容及びその改善を実現した取組について、根拠資料・データ等とともに「対応状況」欄に記入してください。
4. 根拠資料・データ等は、その名称を記載のうえ、別添として添付してください。評価結果の追記公表の際に併せて公表しますので、資料番号については、既存資料と重複しないよう、既存資料の資料番号以降の連番としてください。
5. 評価を受けた年度の翌年度を一年度目として起算した場合の三年度目の6月30日までに改善していると判断していない事項については、対応状況欄にその旨のみを記載してください。